

令和7年8月1日

令和6年度 特別の教育課程の実施状況等について

群馬県玉村町		
学校名	管理機関名	設置者の別
フェリーチェ玉村国際小学校	玉村町（企画課）	株立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学校名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
フェリーチェ玉村 国際小学校	<a href="https://www.felice.ed.jp/elementary/special-curriculum">https://www.felice.ed.jp/elementary/special-curriculum</a>

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学校名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
フェリーチェ玉村 国際小学校	<a href="https://www.felice.ed.jp/%E4%BB%A4%E5%92%8C6%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E7%AC%AC%E4%B8%80%E5%9B%9E%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E8%A9%95%E4%BE%A1%E3%82%A2%E3%83%B3%E3%82%B1%E3%83%BC%E3%83%88%E7%B5%90%E6%9E%9C%E5%A0%B1%E5%91%8A">https://www.felice.ed.jp/%E4%BB%A4%E5%92%8C6%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E7%AC%AC%E4%B8%80%E5%9B%9E%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E8%A9%95%E4%BE%A1%E3%82%A2%E3%83%B3%E3%82%B1%E3%83%BC%E3%83%88%E7%B5%90%E6%9E%9C%E5%A0%B1%E5%91%8A</a>	<a href="https://www.felice.ed.jp/%E4%BB%A4%E5%92%8C6%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E7%AC%AC%E4%B8%80%E5%9B%9E%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E8%A9%95%E4%BE%A1%E3%82%A2%E3%83%B3%E3%82%B1%E3%83%BC%E3%83%88%E7%B5%90%E6%9E%9C%E5%A0%B1%E5%91%8A">https://www.felice.ed.jp/%E4%BB%A4%E5%92%8C6%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E7%AC%AC%E4%B8%80%E5%9B%9E%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E8%A9%95%E4%BE%A1%E3%82%A2%E3%83%B3%E3%82%B1%E3%83%BC%E3%83%88%E7%B5%90%E6%9E%9C%E5%A0%B1%E5%91%8A</a>

※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・  計画通り実施できている
- ・  一部、計画通り実施できていない
- ・  ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・ 実施している
- ・ 実施していない

<特記事項>

ホームページを有効に活用し、教育課程や学校の様子を広く公開している。保護者に対しては、新年度説明会で学校の方針や学年目標等を説明するとともに、定期的に発行する学校・学級だよりで情報発信を行っている。また、地域の民生・児童委員や区長等に学校評議員を委嘱し、地域住民との情報共有を図っている。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本校では、学校教育目標として「正しく判断し行動できる国際性豊かな児童の育成」を掲げている。

本特例により、英語イマージョン教育を実施し、学校生活の中でネイティブの英語に触れることで、実践的な英語力や国際的なコミュニケーション能力の習得につながっている。実際に、実用英語検定では、6年生の90%が英検1級～準2級の合格者であり、ケンブリッジ大学英検ではB2, 1cefrが約20%、以下全員がA2, 1cefrである。本校の英語教育の結果がよく表れている。英語力に課題がある児童に対しては、補充学習を行うなど、児童の習熟度に応じたきめ細やかな指導を行っている。また、英語力の向上には、母国語である日本語の力を高める必要があることから、日本語による国語や算数の指導にも力を入れている。

今後、児童の資質・能力のさらなる向上を目指し、指導方法の工夫や授業改善を行う等、指導体制の強化が望まれる。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

学習指導に関しては、日本の学習指導要領に則り、主体的・対話的で深い学びの実践に向けて取り組んでいる。

本特例の実施により、英語という言葉だけでなく、多様な文化に触れる機会が増え、異なる文化や価値観を理解し、受け入れる力が養われることで、国際社会で活躍するための基盤が築かれている。

また、町内の小中学校と英語に関する合同授業が実施されるなど、本校の特色を生かした連携や交流が図られており、地域内の英語教育の充実や振興に寄与している。

4. 課題の改善のための取組の方向性

3に示すような課題を踏まえて、研修等で教員が指導法の研究を進め、児童の学習意欲を引き出す授業づくりを行うことで、教育の質の向上が図られると考える。

また、ミーティングなどの機会を十分に持ち、日本人教員と外国人教員がコミュニケー

ションを取り合って、共通理解を深めながら、連携した指導を実践していくことが必要である。